

佐藤淳二 デカルト『方法叙説』を読み直す——「私」と「方法」
倉本尚徳 玄奘三蔵の伝記を読み直す——帰国後の行跡を中心に
藤野志織 疾しさの澱、安岡章太郎短篇作品の魅力を探る

名作再読 14

いま読んだらこんなに面白い

2022年

7月2日(土)

聴講
無料

13:00-17:00 人文研本館 セミナー室1

対面方式による講演とZoomウェビナーによるオンライン同時配信の併催

事前登録が必要です ○ 対面での参加を希望される方【先着15名まで】

以下のアドレスまで氏名を明記のうえご連絡ください。
z-academy@zinbun.kyoto-u.ac.jp
*定員に達し次第、募集を締め切りますので予めご了承ください。

○ オンラインでの視聴を希望される方

左のQRコードまたは以下のリンクから事前登録をお願いいたします。
https://zoom.us/webinar/register/WN_BSOz028mS1aleWm5bHXIhQ
*ご登録いただいたメールアドレスに追って視聴用URLが送付されますので、シンポジウム当日はそちらのURLにアクセスをお願いいたします。

今年度の夏期公開講座は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、参加人数を減らした会場での講演とZoomウェビナーでの同時中継によるオンライン配信にて開催いたします。これまでと異なる開催方式となりますが、ご参加を心よりお待ちしております。なお、感染状況によって、会場での対面開催を中止するなどの変更が生じる可能性があります。

主催 京都大学人文科学研究所
京都大学人文科学研究所 総務掛
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL 075-753-6902 (月~金 9:00~17:00)
mail:z-academy@zinbun.kyoto-u.ac.jp



<https://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp>



人文研アカデミー2022 夏期公開講座

京都大学人文科学研究所では、来たる7月2日(土)、恒例の夏期講座「名作再読」を開催いたします。今回は、「我思う、ゆえに我あり」で近代哲学を切り拓いたフランスのルネ・デカルト(1596-1650)、インドから唐代の中国に仏典をもたらし、「三蔵法師」の名で親しまれている玄奘三蔵(602-664)、そして「第三の新人」としてデビューし、戦後日本を代表する小説家の一人である安岡章太郎(1920-2013)の著作や伝記を取り上げます。これまでの価値観が大きくゆらぐ今だからこそ、読書によって古今東西の世界を縦横に行き来して、今を生きる思索の手がかりをみつけてゆきたいと思います。夏の午後のひととき、みなさまのご聴講を心よりお待ちしております。

講師紹介

佐藤 淳二 SATO Junji 京都大学人文科学研究所 教授

専門 | ヨーロッパ思想史、フランス18世紀思想
主著 | 『狂い咲く、フーコー』(共著 読書人 2021年)

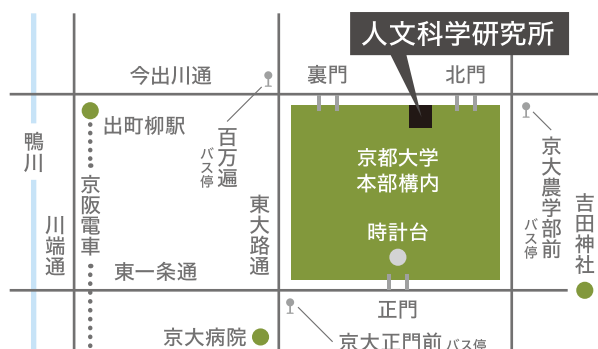
倉本 尚徳 KURAMOTO Hisanori 京都大学人文科学研究所 准教授

専門 | 中国仏教史
主著 | 『北朝仏教造像銘研究』(法藏館 2016年)
『最澄・空海将来『三教不斉論』の研究』(共著 国書刊行会 2016年)
『現代語訳 北斉書 — 中国史書入門』(共訳 勉誠社 2021年)

藤野 志織 FUJINO Shiori 京都大学人文科学研究所 助教

専門 | フランス文学
主著 | 「アンドレ・ブルトンにおけるドキュメントの問い — 「ありのまま」の記述についての一考察」
『フランス語フランス文学研究』119号(日本フランス語フランス文学会 2021年)

access



- 予告 - notice!

シンポジウム 東アジアの脱植民地化とジェンダー秩序

7月10日(日) 13:00-17:00

講師

松田京子・伊地知紀子
蘭信三・竹沢泰子 ほか

場所

人文研本館 セミナー室1
(オンライン併用の可能性あり)